資料２－１

令和８年１０月２２日
野　菜　業　務　部

野菜（キャベツ、はくさい、レタス）の需給・価格動向について（令和８年１月～９月）

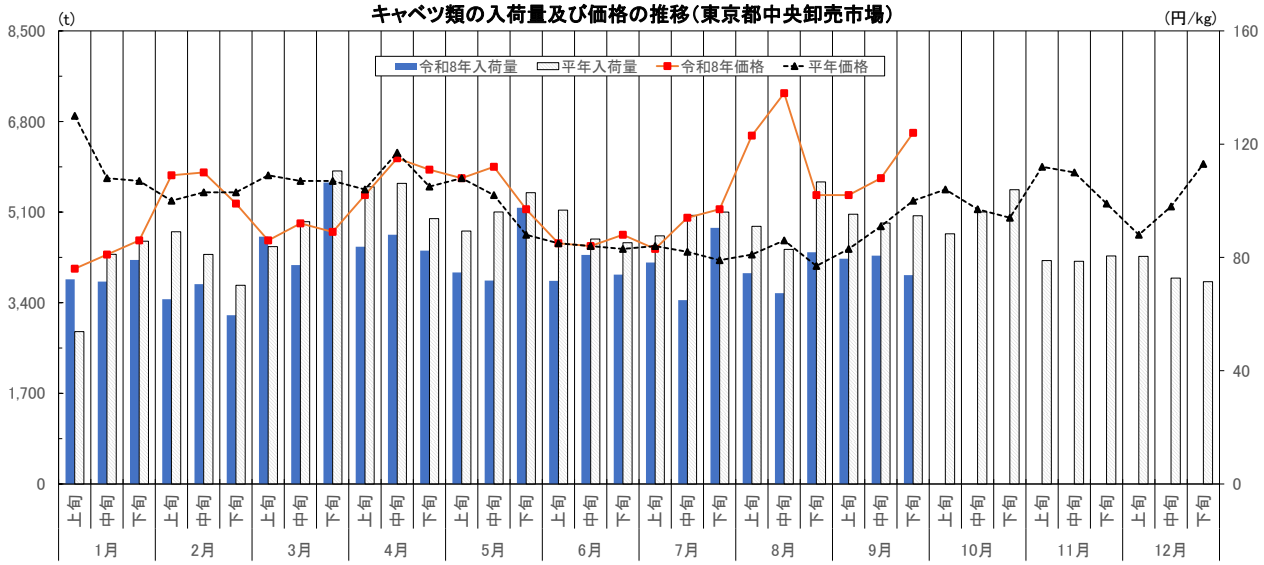
（１）キャベツ

令和８年のキャベツは、年末からの好天もあり１月～３月は、主要産地の生育がおおむね順調に推移した。１月及び３月は潤沢な出回りとなったことから、月平均価格は１月で３割、３月で２割平年を下回った。２月は関東産が前進出荷や低温・干ばつによる小玉傾向に加え、関東産地の降雪による収穫遅延から一時的に不足感が強まり、上旬は高値となったものの、下旬は需要が落ち着き価格はやや平年を下回った。

４月の主産地の前進出荷による端境や、一部産地における高温・降雨の影響による品質低下に伴い入荷量が減少、５月の春系が前月までの前進による入荷量の減少、６月下旬の関東産地の入荷減少などが影響し、４月～６月の期間平均価格は３月末の価格から徐々に上がっていき、平年をわずかに上回って推移した。

７月以降は、夏場の高温・干ばつの影響から、生育の停滞や小玉傾向となったことから入荷量が減少した。特に８月は平年比で２割近く減少したことにより、家庭用・業務用ともに需要が堅調であったことから月平均価格は平年を約５割上回った。９月も日照不足や低温による生育遅延から入荷量が平年を大幅に下回り、他品目の価格が高く、キャベツの需要が高まり、月平均価格は平年を２割以上上回る高値となった。

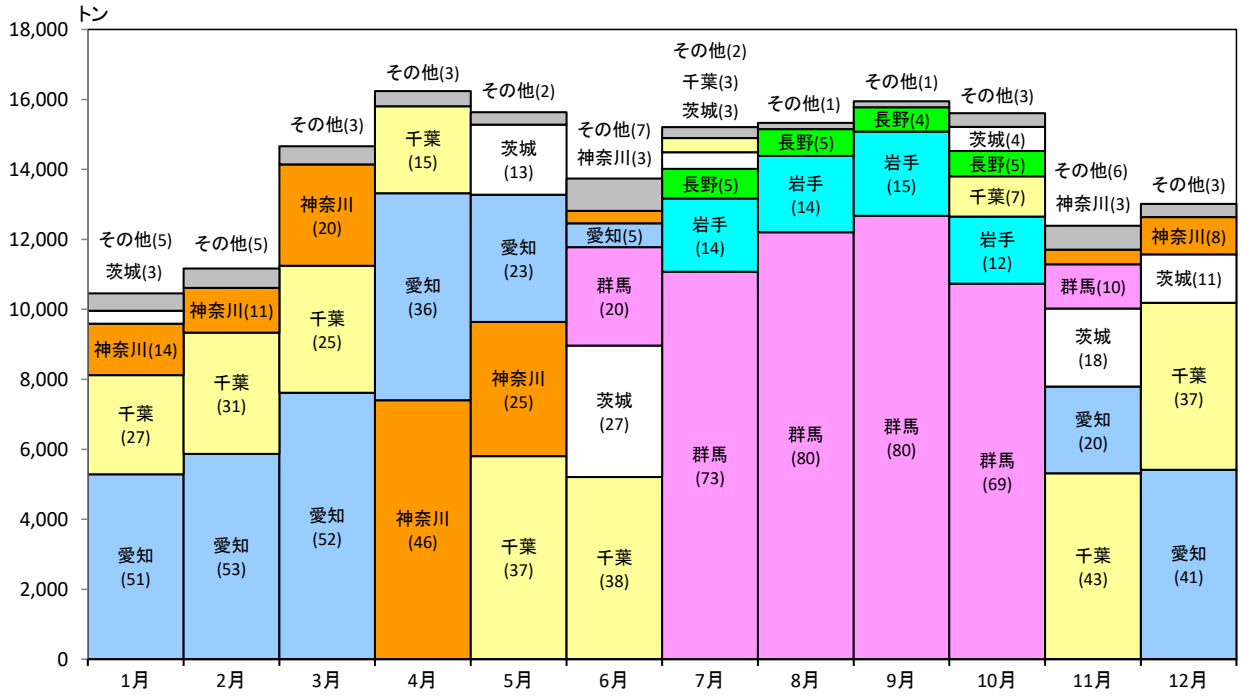
このように、１月～３月は潤沢な供給により平年を下回る価格の旬が多かったものの、４月以降は端境や天候不順の影響による供給減が続き、夏季の高温・干ばつや秋口の日照不足・低温による生育不良が重なったため、特に７月以降の価格は平年を上回る価格で推移した。



資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」

注：平年とは、過去５カ年（令和３～７年）の旬別価格の平均値である。

令和7年　キャベツ類の月別入荷実績
（東京都中央卸売市場計）



農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：令和7年東京都中央卸売市場年報

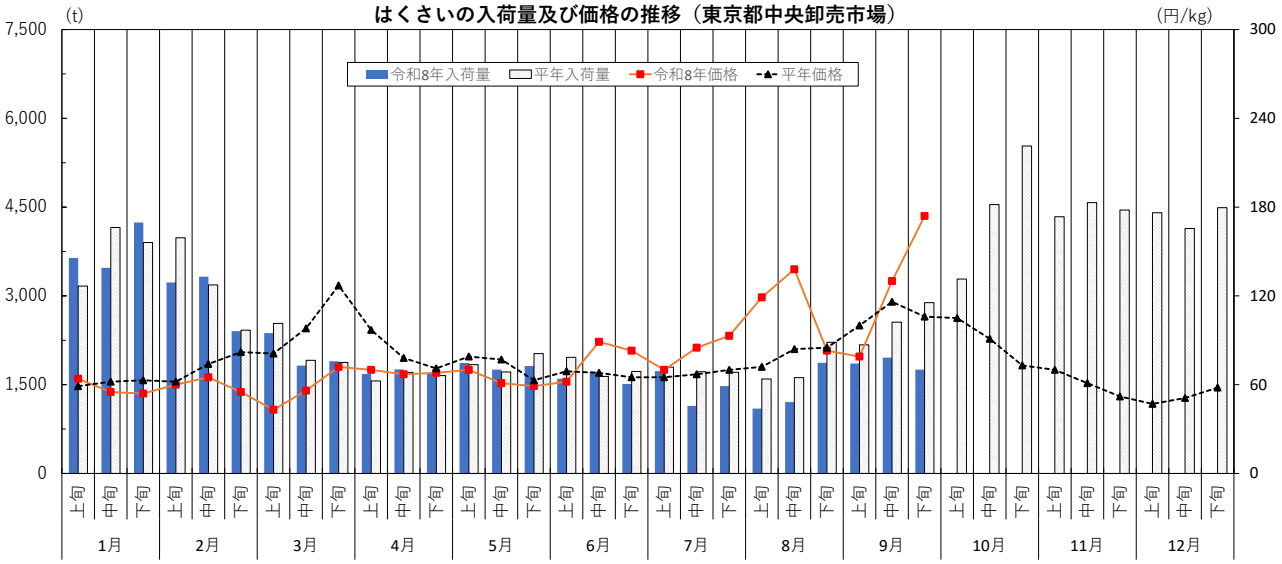
（２）はくさい

令和８年のはくさいは、１月～５月にかけては主産地である茨城県産を中心に生育がおおむね順調で、入荷量が比較的潤沢であったことに加え、気温の上昇に伴い消費が鈍くなったことで、期間平均の価格は平年を約２割下回って推移した。

６月中旬～８月中旬は、６月の低温、７月～８月上旬までの高温や少雨の影響で小玉傾向となり、期間平均の入荷量は平年を大幅に下回り、価格は平年を約４割上回る価格で推移した。８月下旬には適度な降雨により入荷量が回復し、価格は平年並みまでに落ち着いた。

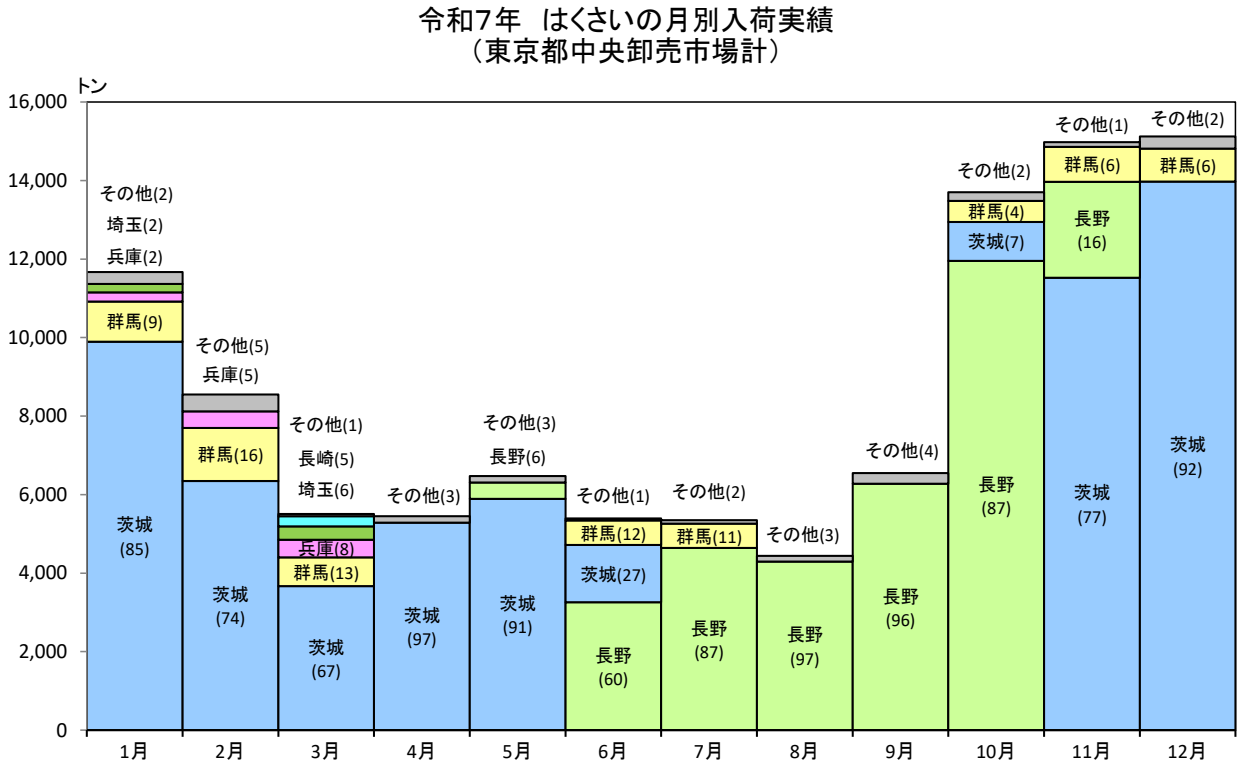
９月は長野県産において長雨や低温による生育遅延、小玉傾向、収穫遅れが発生し、月平均の入荷量が平年を約２割下回ったことに加えて、気温の低下により需要が増加したことから、月平均価格は平年を約２割上回った。

このように、春先までは供給量が比較的安定し需要も低調であったことから平年を下回る価格が続いたものの、６月以降は天候不順による生育遅延や小玉傾向により入荷量が減少し、価格は平年を上回って推移した。



資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」

注：平年とは、過去５カ年（令和３～７年）の旬別価格の平均値である。



農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：令和7年東京都中央卸売市場年報

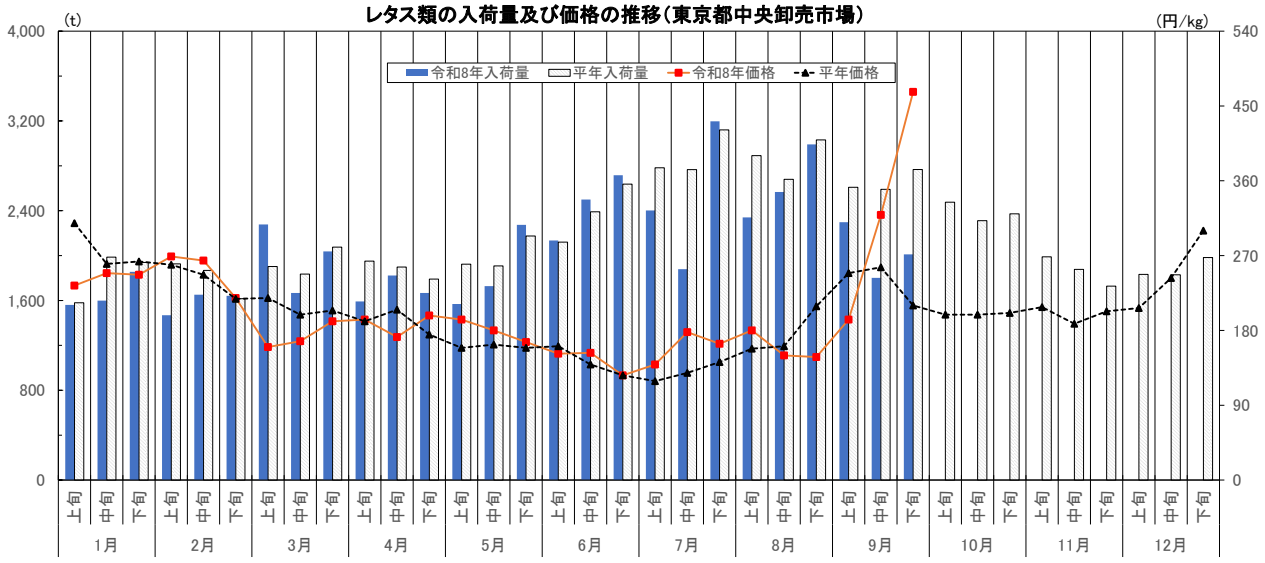
（３）レタス

令和８年のレタスは、１月～６月にかけては主産地が切り替わりながら、全体として比較的安定した供給により、期間平均価格は平年をやや下回った。１月は静岡県産の作柄が良好で、月平均価格は平年を約１割下回った。２月は主産地の静岡県で低温・干ばつの影響で小玉傾向となり入荷量は減少したものの、需要も冷え込みから伸び悩み、後半は茨城県産の生育回復による入荷増加から月平均価格はやや平年を上回った。３月は茨城県産に加え西日本産の入荷も始まり、供給量の増加から月平均価格は平年を約２割下回った。４月は茨城県産主体の安定した入荷と気温上昇により需要も回復し、月平均価格はわずかに平年を下回った。

７月～８月上旬は長野県・群馬県産主体の入荷で、高温・干ばつによる入荷量の減少により、期間平均入荷量は平年を１割以上下回り、価格は平年を約２割上回った。

８月中旬～９月上旬は主産地である長野県での降雨により生育が回復し、入荷量が増加したことで期間平均価格は平年を約２割下回った。９月中旬以降は長野県で長雨や低温による生育遅延、小玉傾向、収穫遅れなどにより、月平均の入荷量は平年を約２割下回り、価格は３割以上上回った。

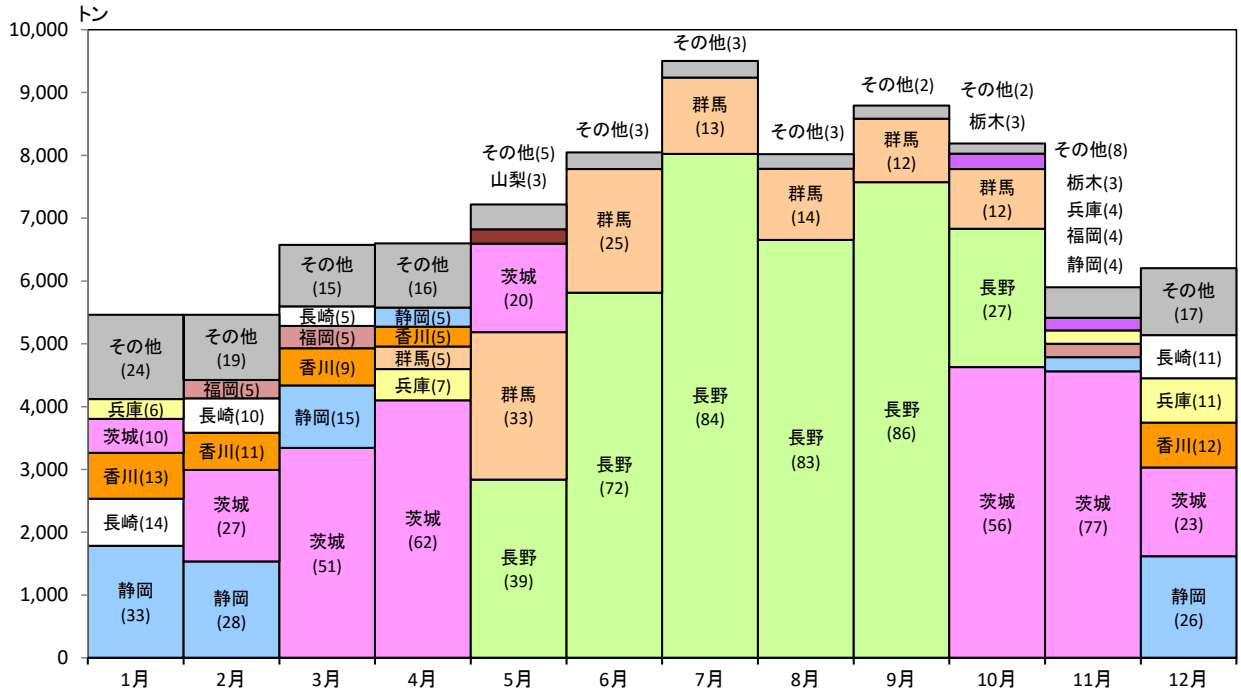
このように、１月～６月にかけては供給がおおむね安定し価格も平年並みから平年を下回って推移したものの、７月～８月上旬は、高温・干ばつにより入荷量減により価格が上昇した。８月中旬～９月上旬までは、主産地の長野県での降雨により、生育が回復して入荷量が増え、平年を約２割下回るまで下落した。９月中旬以降は長雨の影響から、生育遅延や収穫の遅れなどにより再び入荷量が減少し、価格は平年を大きく上回った。



資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」

注：平年とは、過去５カ年（令和３～７年）の旬別価格の平均値である。

令和7年　レタス類の月別入荷実績
（東京都中央卸売市場計）



農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：令和7年東京都中央卸売市場年報